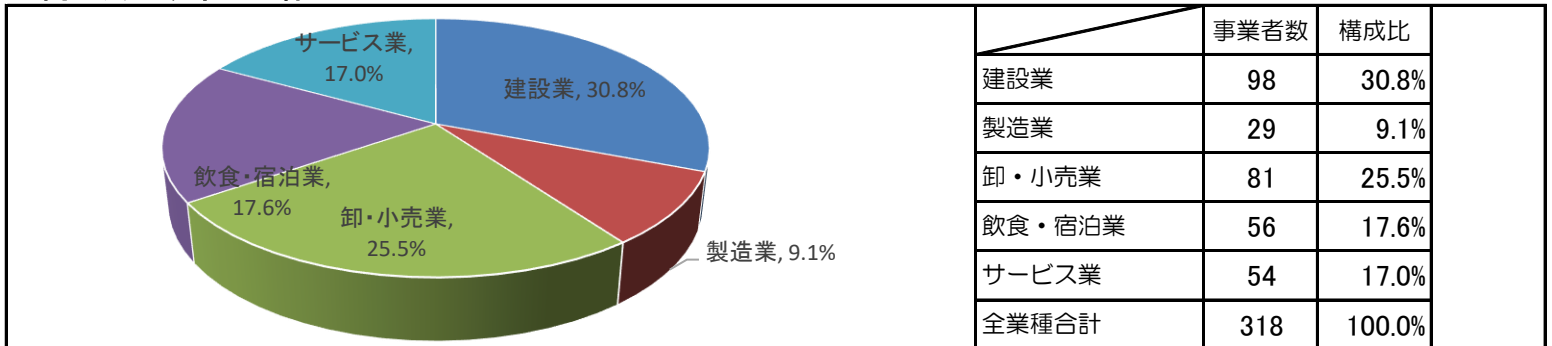


十日町市商工会地域 企業景況調査 第3四半期報告書（H30.10.1～H30.12.31）松代町地区

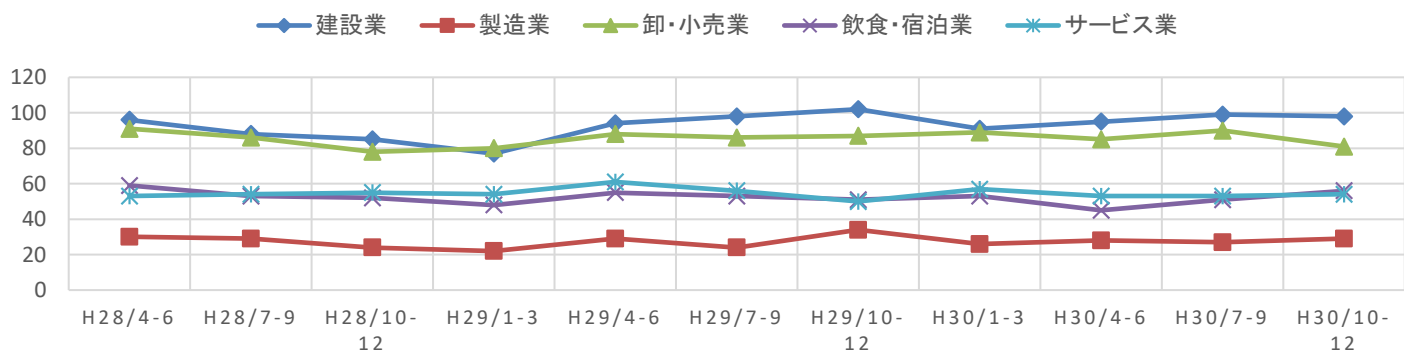
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>

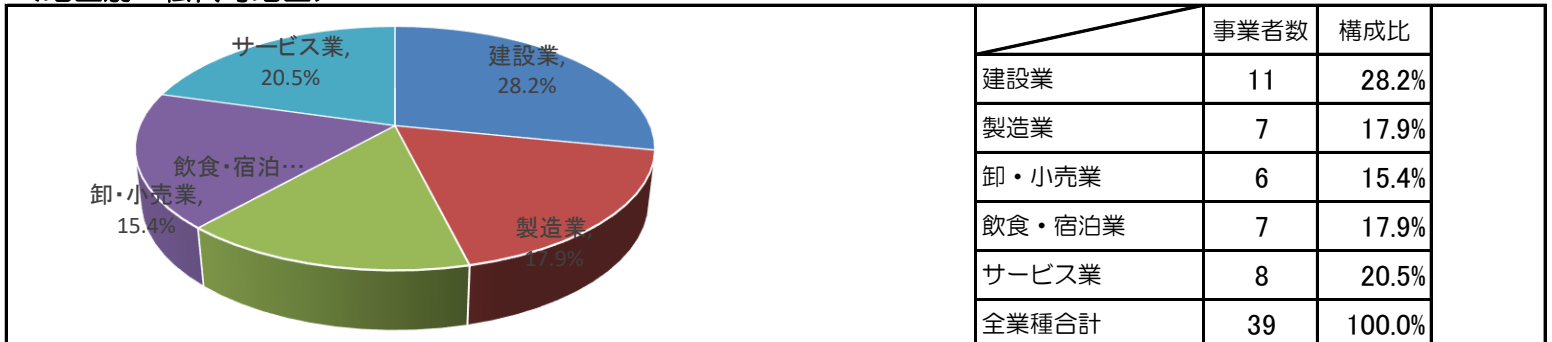


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

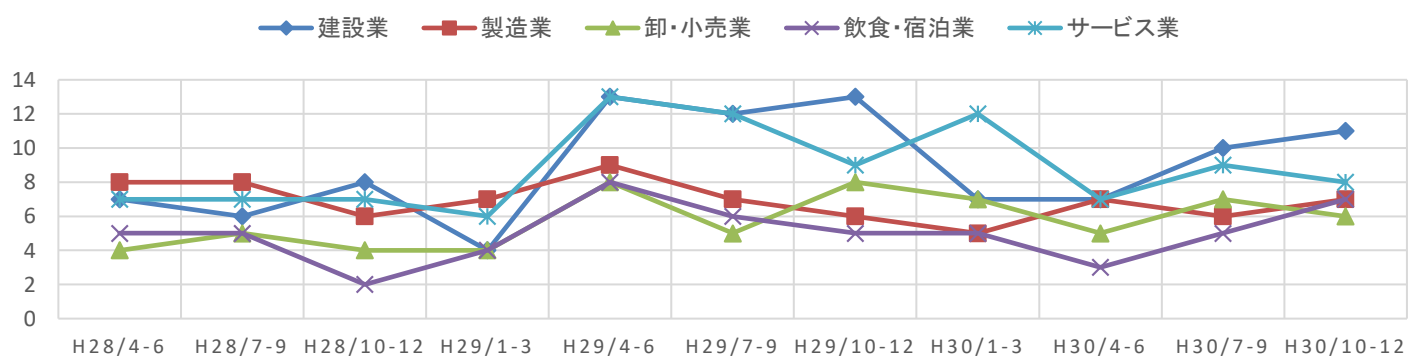


<コメント> 今回の調査も十日町市内商工会地域全体の約3割の事業者から回答を得ている。前回調査よりも2事業所少なかったが、構成割合も前回と大きな変動の無い結果となっている。

<地区別：松代町地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



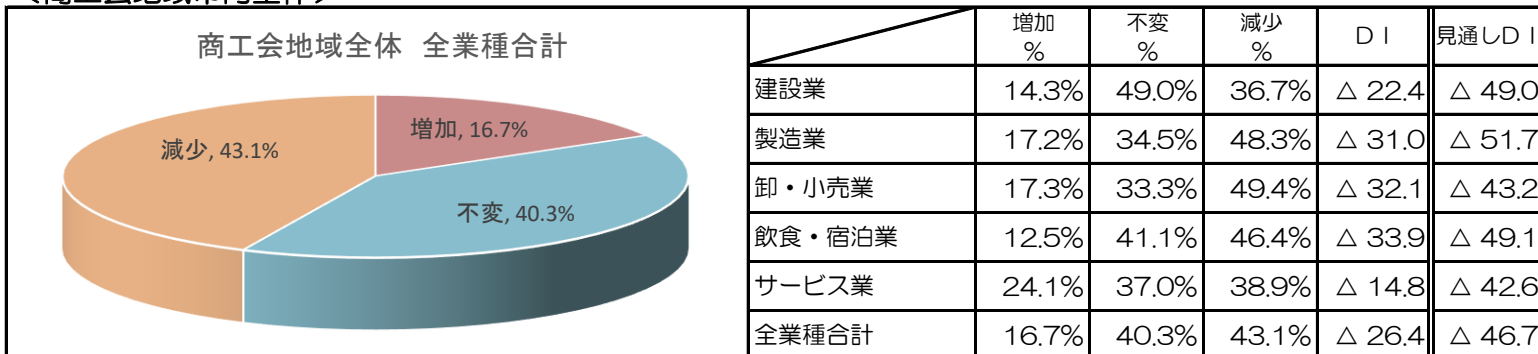
<コメント> 今回の調査も当松代地域においては、地域全体の約3割の事業者より回答を得た。前回調査よりも2事業所多くの回答があり、構成割合も前回と大きな変動の無いが「建設業」「サービス業」で約5割を占めている状況である。

DI 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

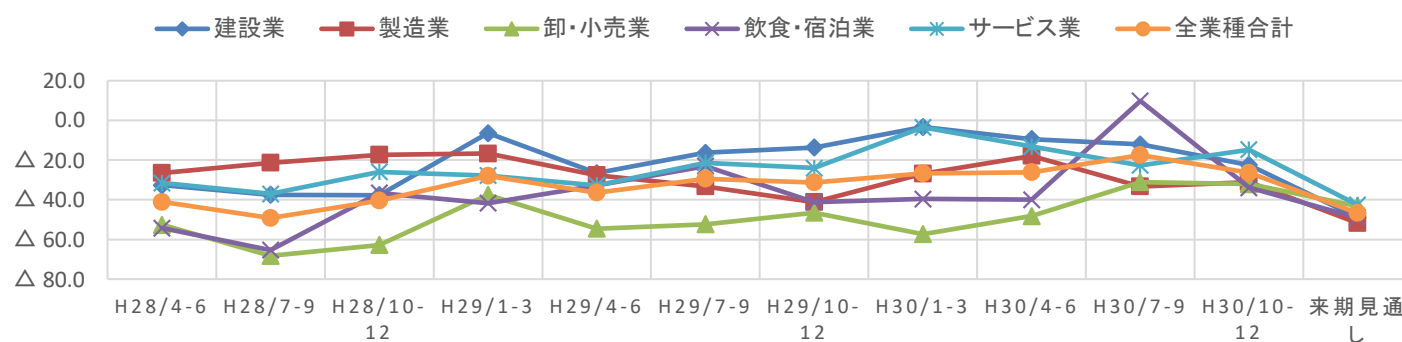
1. 売上について

・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

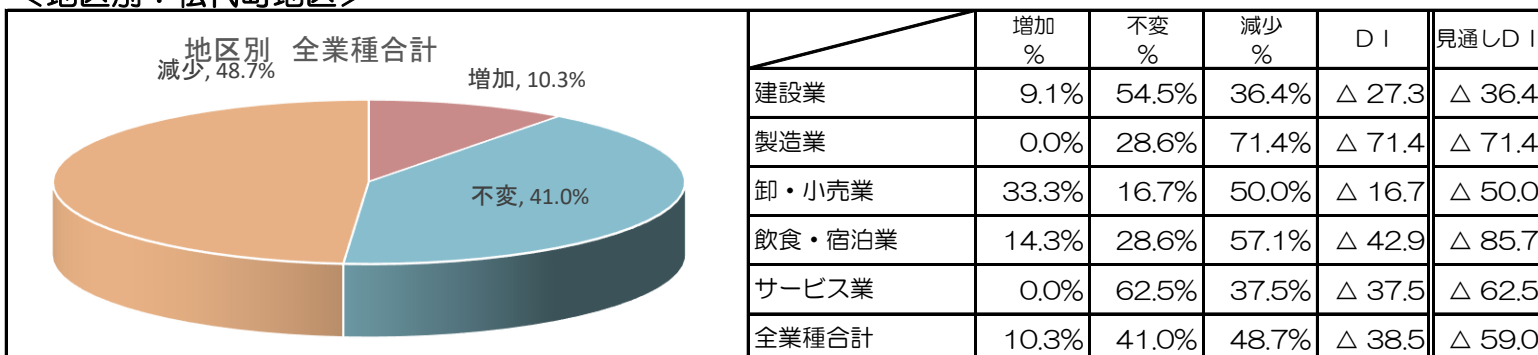


業種別売上の推移（市内全体）

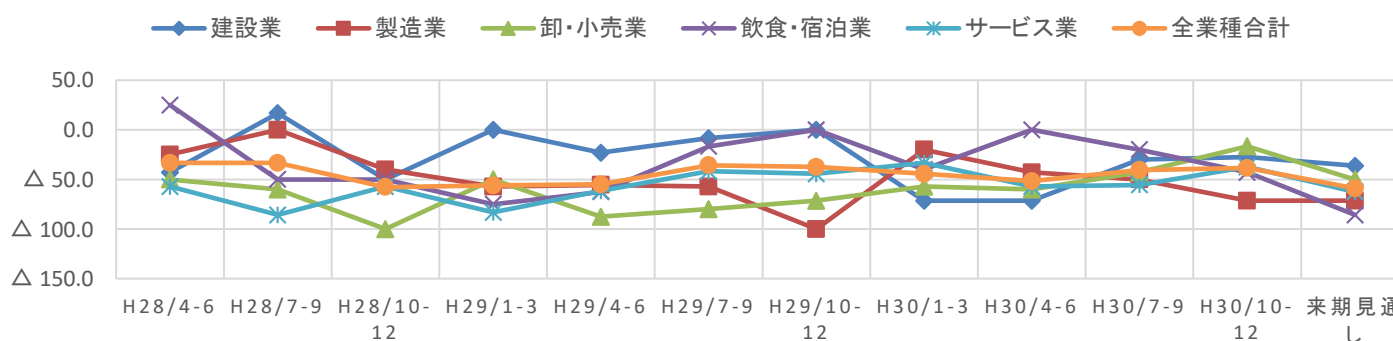


<コメント> 今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△26.4ポイントであった。昨年度の同期は△31.3ポイントであり、前年同期比で4.9ポイント改善されている。一昨年度の同期DIは△40.4ポイントであり、過去三カ年の中では一番良い数値となっている。ただし、来期見通しにおいて全ての業種が減少予測しており、今後の動向に注視したい。

<地区別：松代町地区>



業種別売上の推移（地区別）

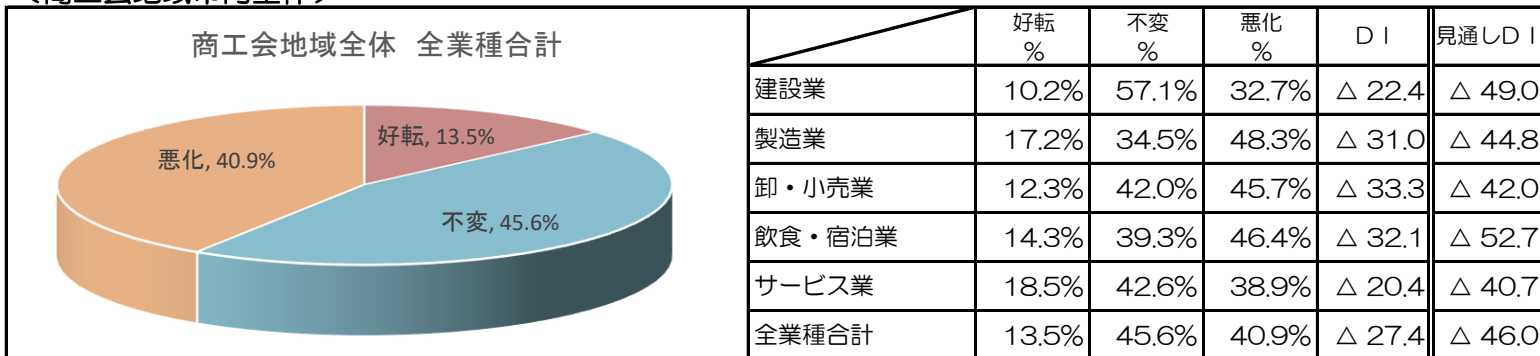


<コメント> 今期の松代地域において、全業種合計で前回調査時よりもDI値で2ポイントの改善が見られた。内容は、推移グラフで分かるとおり、卸・小売とサービス業で高止まりが見られ、これは大地の芸術祭余韻と年末による効果があったものと思われる。その他の業種で改善傾向であるが、製造業では減少している。来期見通しでは、全業種で緩やかな減少予測されており、数字では2.2ポイント減少予想となっている。

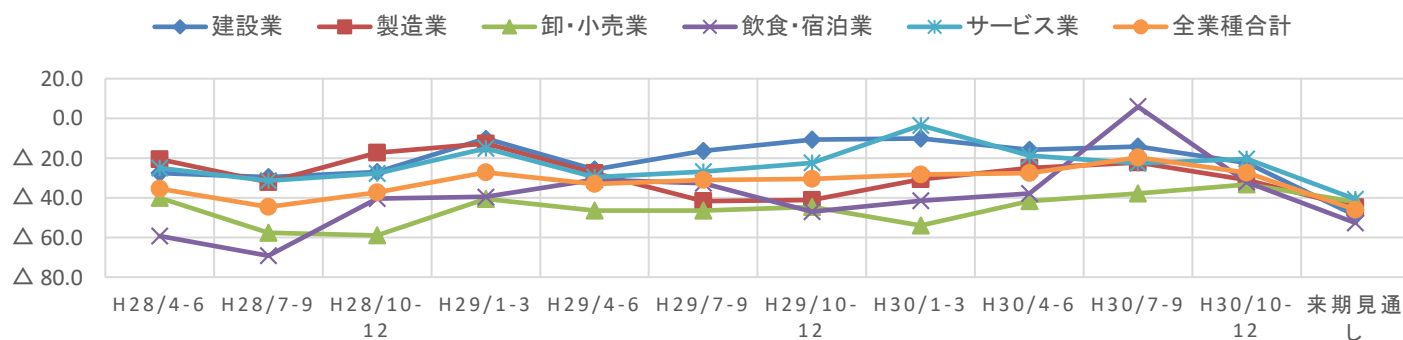
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

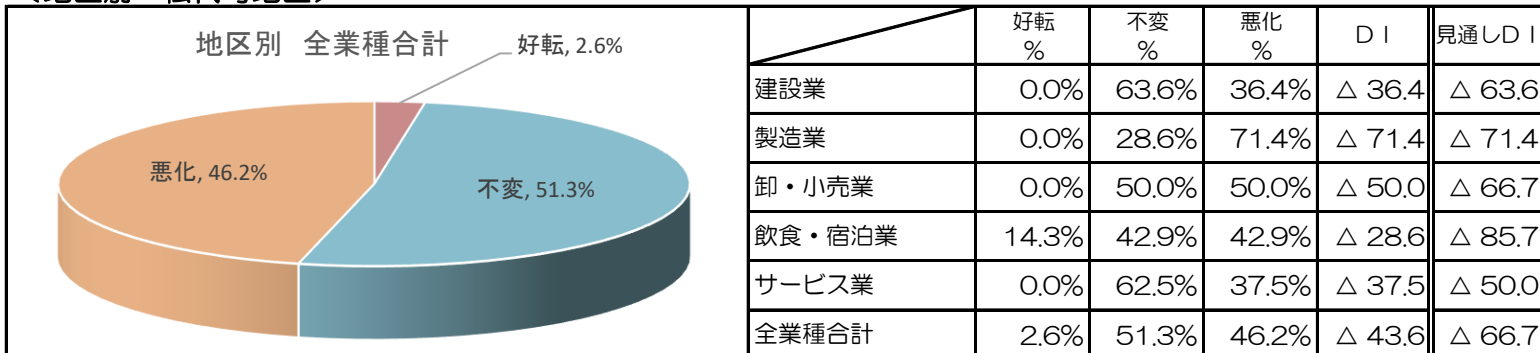


業種別採算の推移(市内全体)

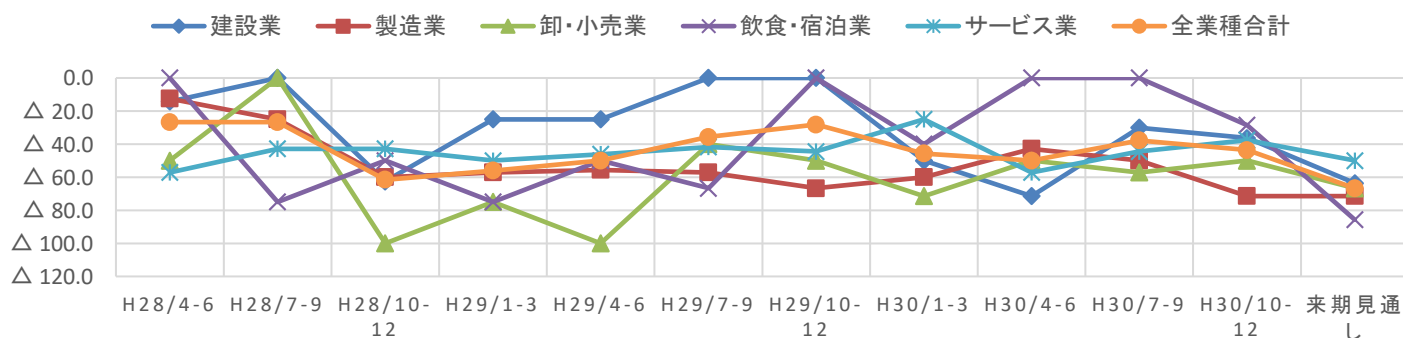


<コメント> 今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△27.4ポイントであった。昨年同期のDIは△30.5ポイントであり、3.1ポイント改善している。一昨年度の同期(△37.3)比較でも改善されており、売上と同様の推移グラフとなっている。来期見通しは全業種で悪化予測されており、売上減少による採算の悪化と推測できる。

<地区別：松代町地区>



業種別採算の推移(地区別)

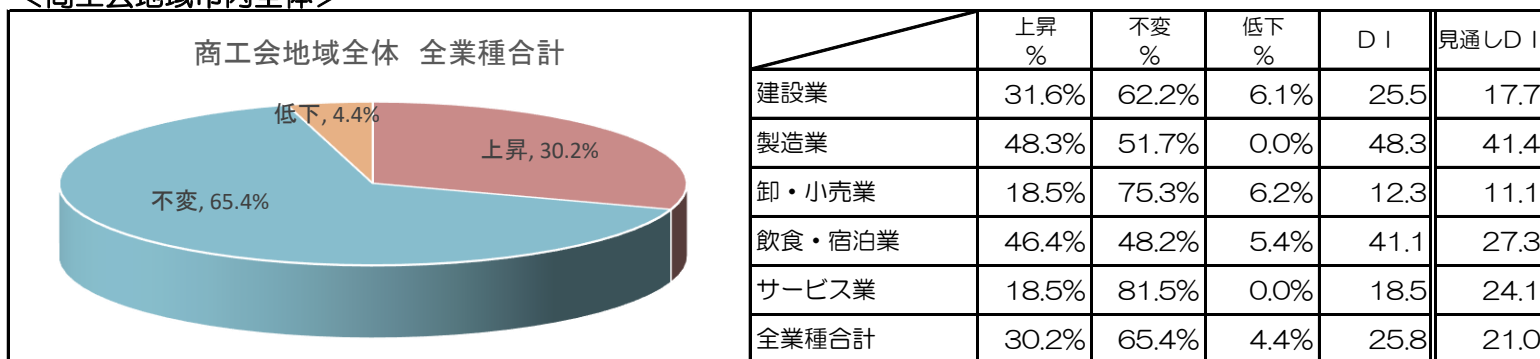


<コメント> 今期の松代地域において、全業種のDI値が横這いか減少傾向である。特に大幅な減少であるのは飲食・宿泊業で大地の芸術祭の反動が来ているようである。加えて、来期見通しにおいては飲食・宿泊業の悪化予測幅が大きく、全業種でも7.2ポイント悪化予測が増加している。

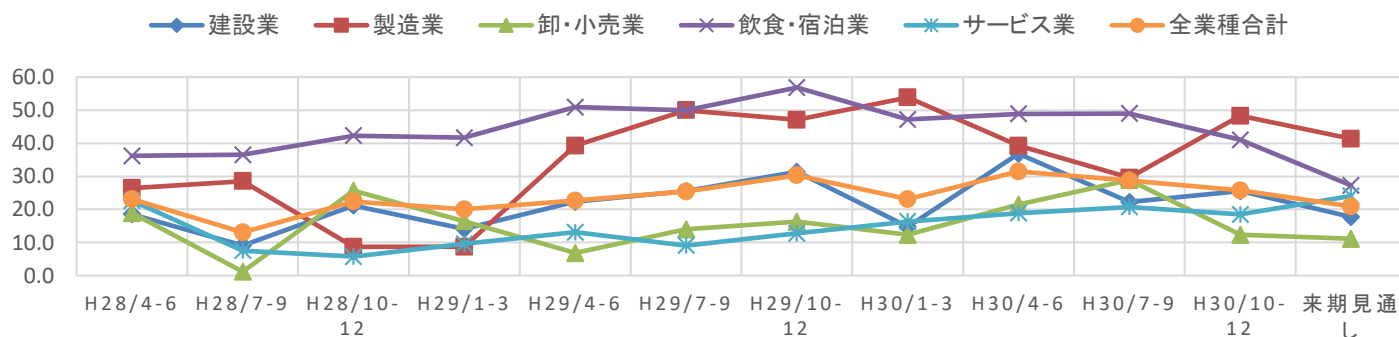
3. 仕入単価について

- ・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

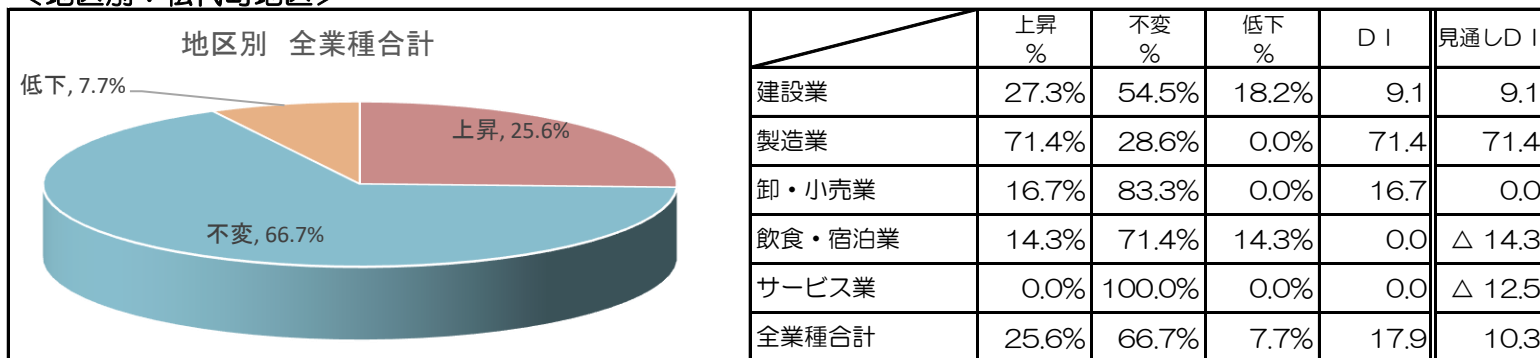


業種別仕入単価の推移(市内全体)

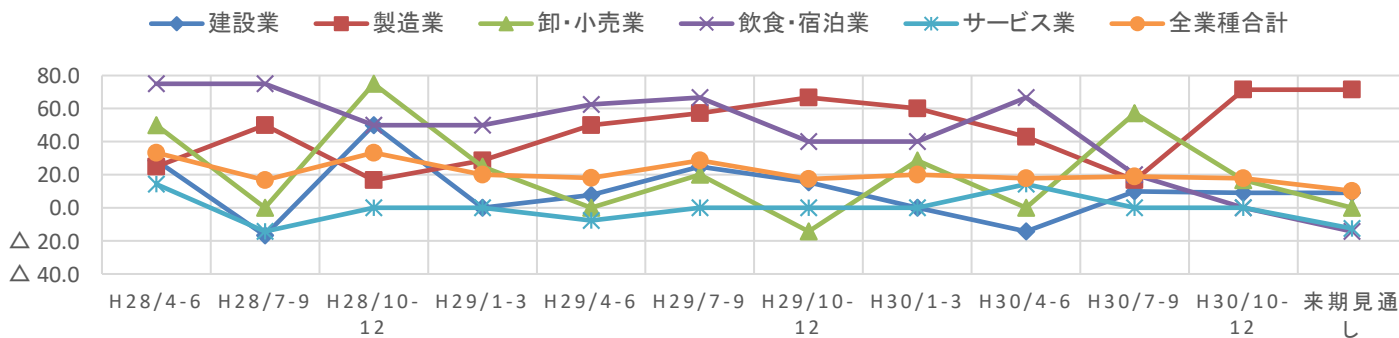


<コメント> 今期の市内全体の仕入単価の状況は、DI値25.8ポイントであった。昨年同期は30.3ポイントであり、4.5ポイント低下となっている。不変回答が全体で65.4%と半数以上の事業所で変動が無いものと思われるが、業種別では製造業と飲食・宿泊業で価格上昇回答が多かった。来期見通しではサービス業以外の業種で低下予測している。

<地区別：松代町地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

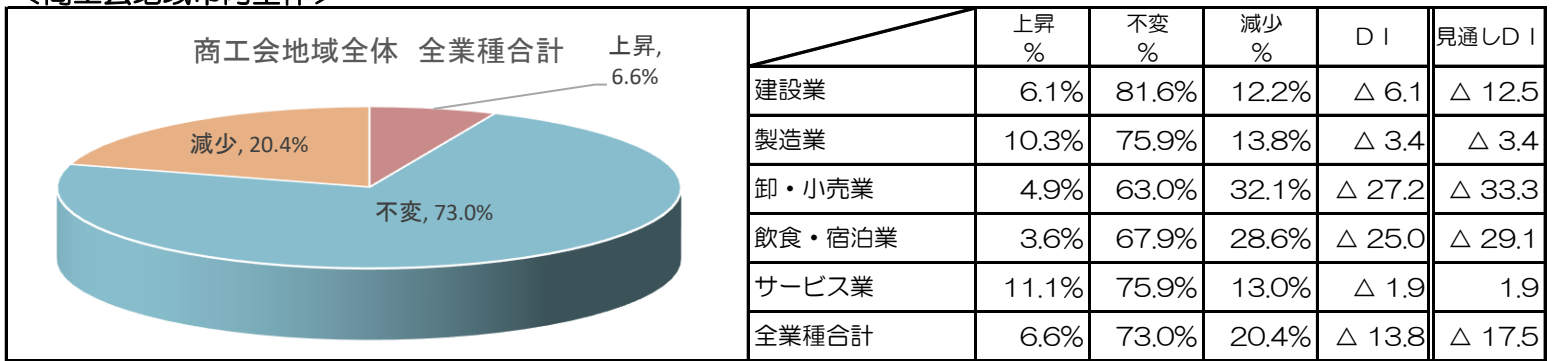


<コメント> 今期の松代地域において、今期の地域全体の仕入単価の状況は、前回調査比でDI値で1ポイント改善している結果であった。来期見通しにおいては、全体において横ばい傾向で製造業は上昇予想している企業が多く、全体ではDI値で18.9で現状維持の見込みである。

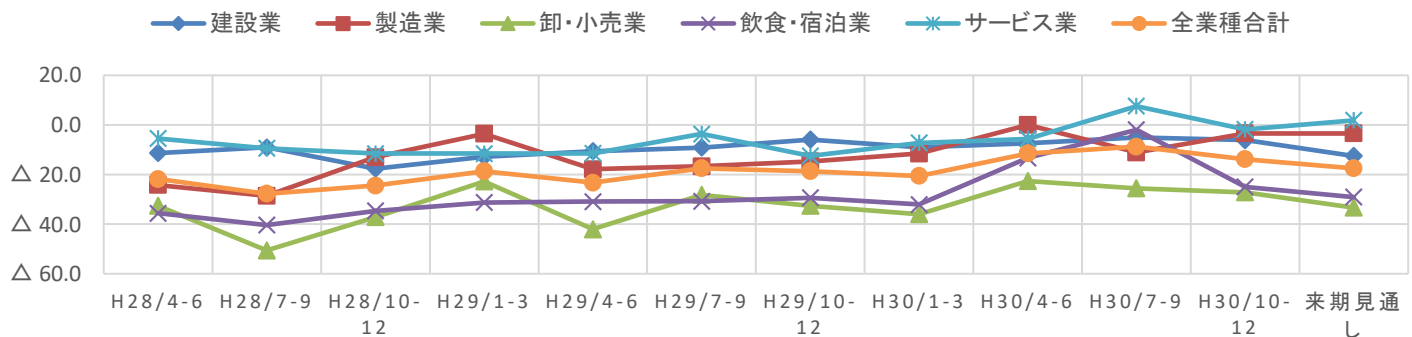
4. 販売（客）単価について

・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

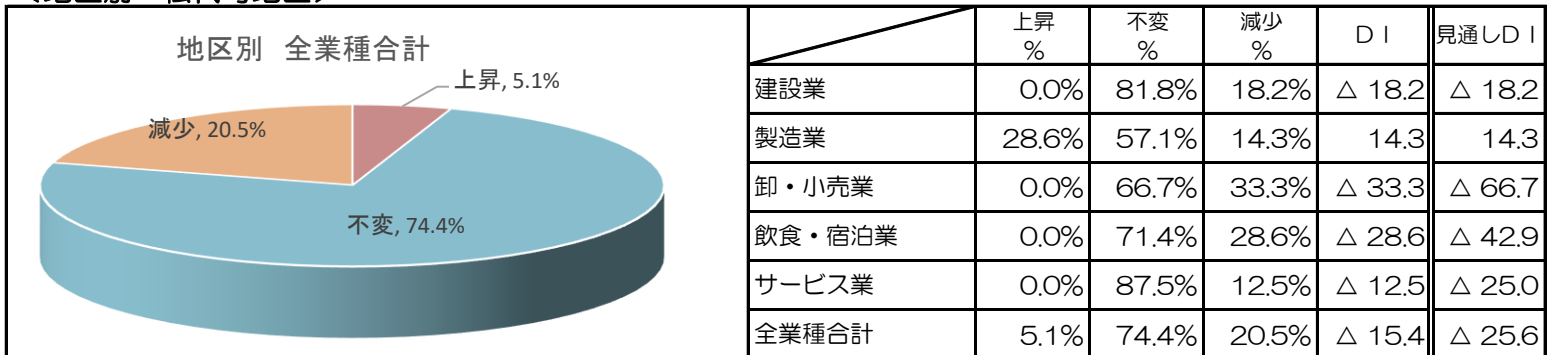


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

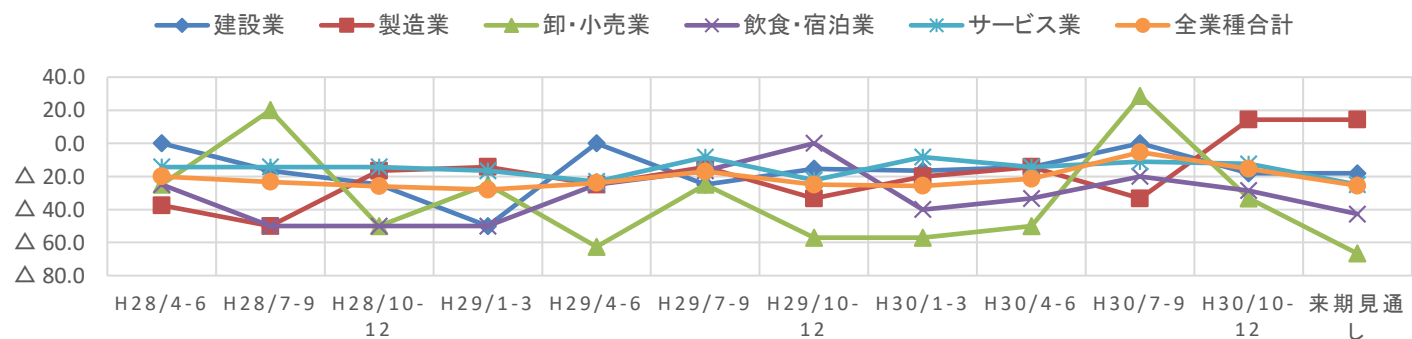


<コメント> 今期の市内全体の販売（客）単価の状況はDI値△13.8ポイントであった。前年同期（△18.7）比で4.9ポイント上昇しているが、不変回答が73.0%あり、多くの事業所では変動が無いと思われる。業種別では卸・小売業及び飲食・宿泊業で減少が大きく表れている。来期見通しはサービス業で上昇予測されているものの、その他の業種で若干であるが減少予測されている。

<地区別：松代町地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

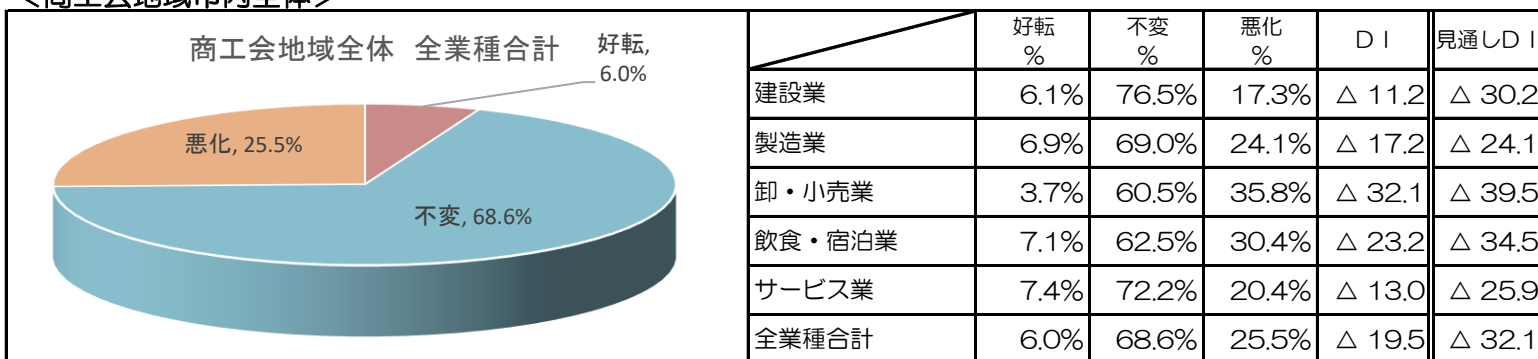


<コメント> 今期の松代地域において、地域全体の販売（客）単価は、全業種DIでは横ばい傾向であるが、製造業では大幅な増加、卸小売では大幅な減少値になった。注視したいのは、卸小売業であまりに急激な減少傾向で今後の傾向を注視したい。来期見通しでは、全体ではDI値で10.2の減少傾向であり、今後の動向も注意しなければならない。

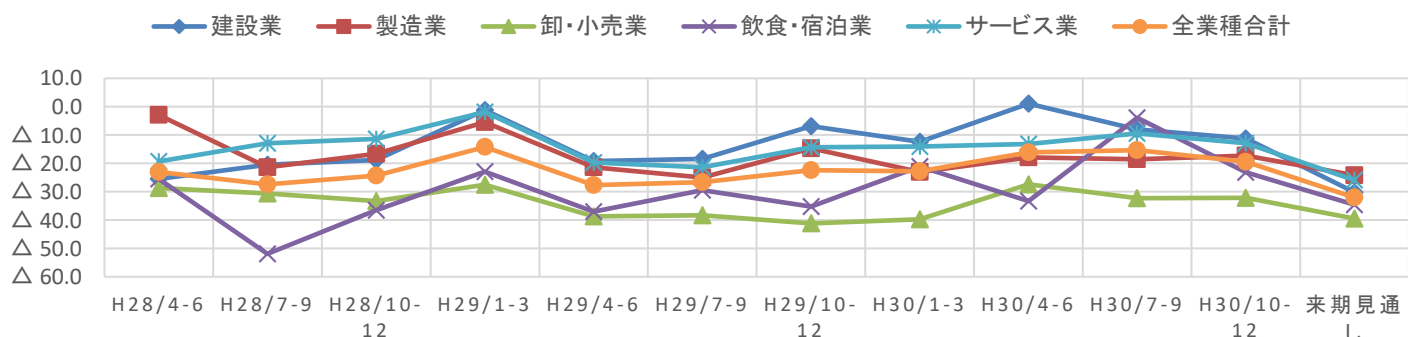
5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

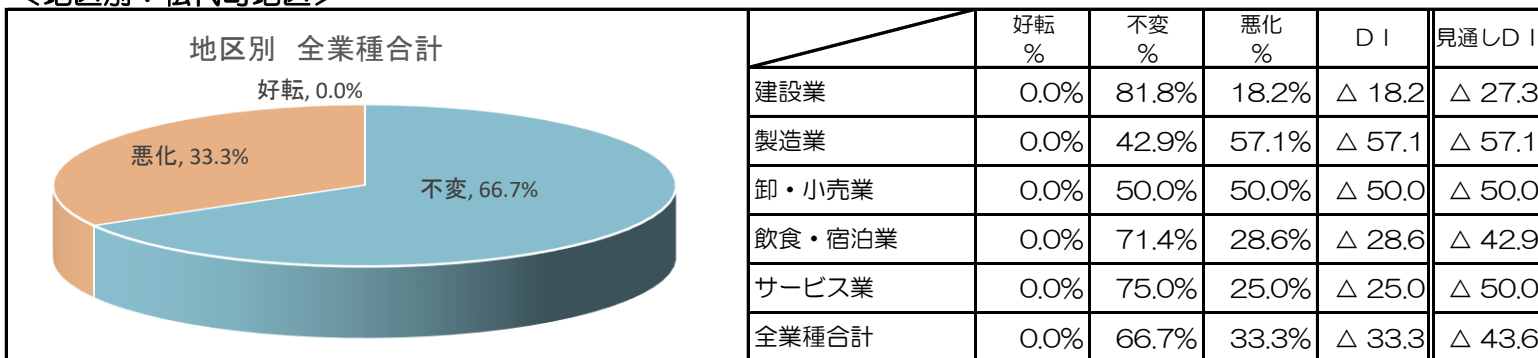


業種別資金繰りの推移(市内全体)

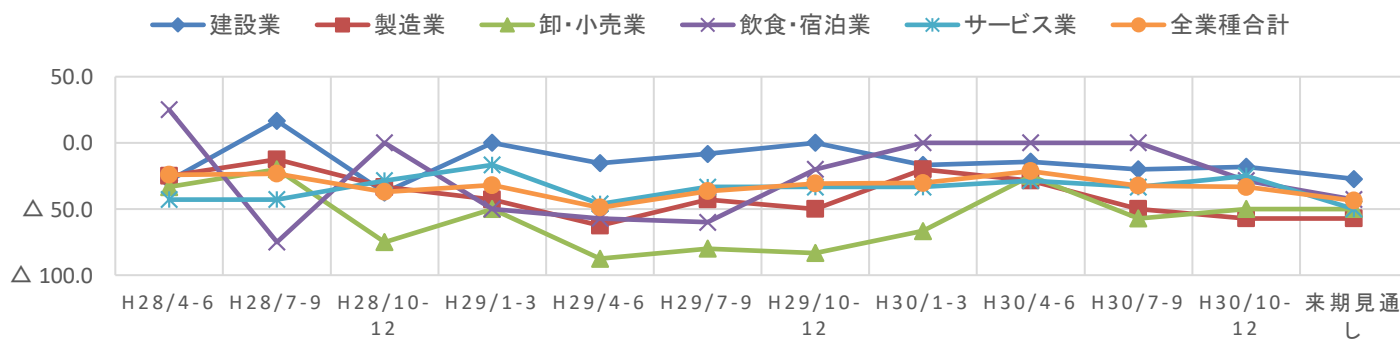


<コメント> 今期の市内全体の資金繰り状況は、DI値△19.5ポイントであった。前年同期(△22.4)比で2.9ポイント改善されているが、来期見通しは全ての業種で今期よりも悪化予測されており、売上状況で減少予測されている影響からの資金繰り悪化と推測できる。

<地区別：松代町地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

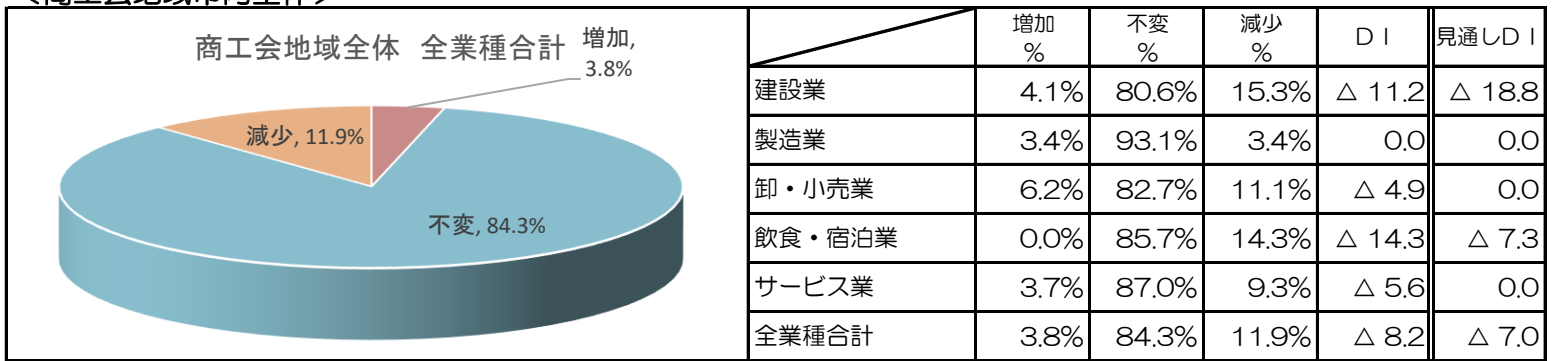


<コメント> 今期の松代地域において、地域全体の資金繰り状況は、前期調査にて唯一現状維持となっていた飲食・宿泊業が今回から減少に転じ総じて悪化傾向である。特に飲食・宿泊業で悪化が目立っているが、全業種では微減の横這い傾向である。来期見通しでは、飲食・宿泊業で大きく悪化予測されている上に、業種全体でも10.3ポイント悪化傾向となっている。

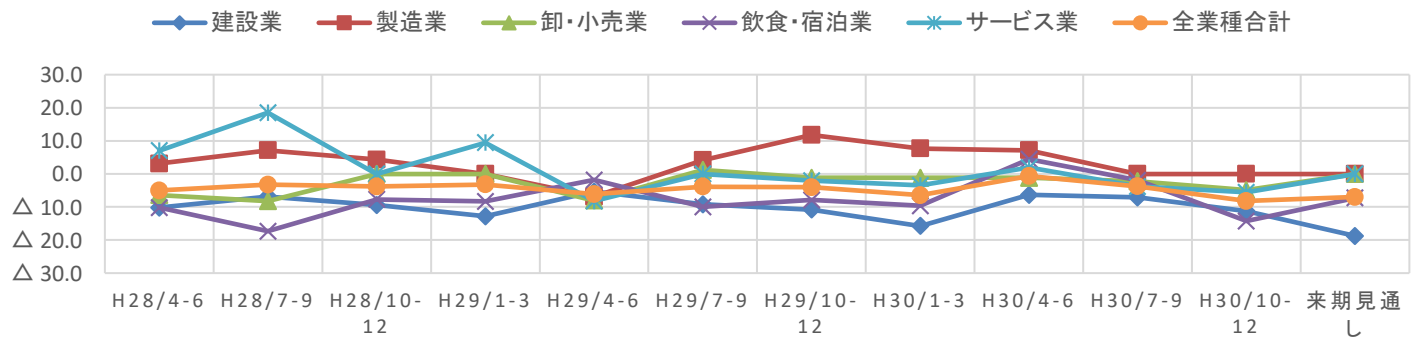
6. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

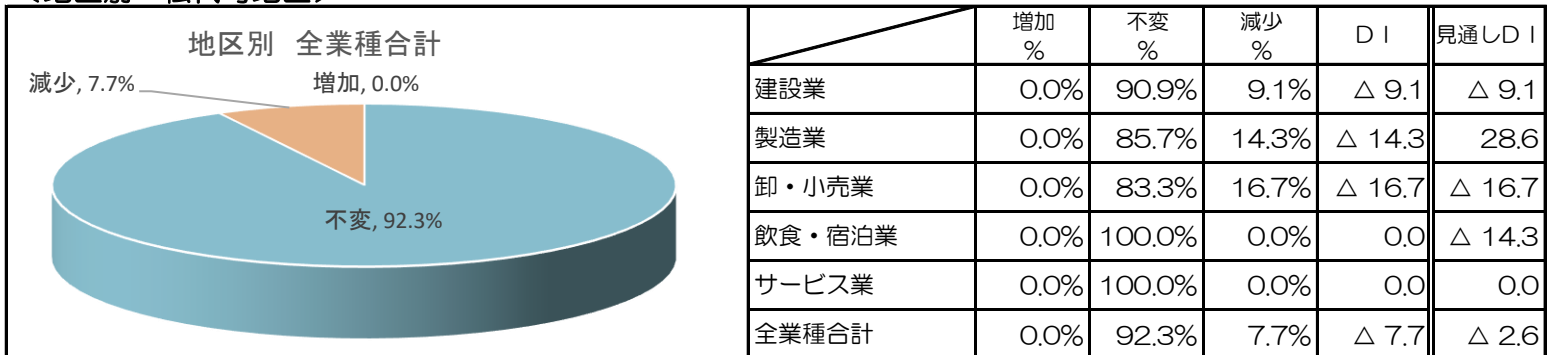


業種別従業員数の推移(市内全体)

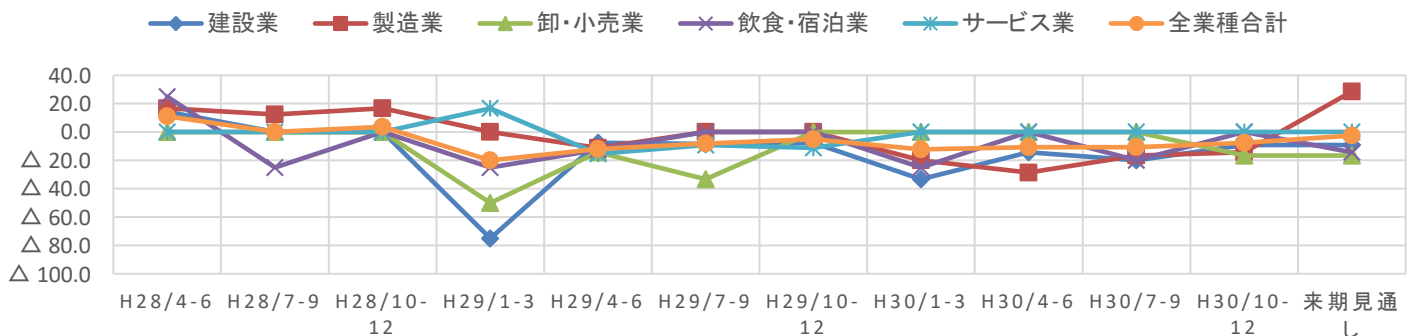


<コメント> 今期の市内全体の従業員数は、DI値△8.2ポイントであり、円グラフから分かるとおり不変事業所が大半である。今期は建設業と飲食・宿泊業でマイナスポイントが高かった。来期見通しでは、建設業で△18.8ポイントのマイナスを示しているものの大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：松代町地区>



業種別従業員数の推移(地区別)

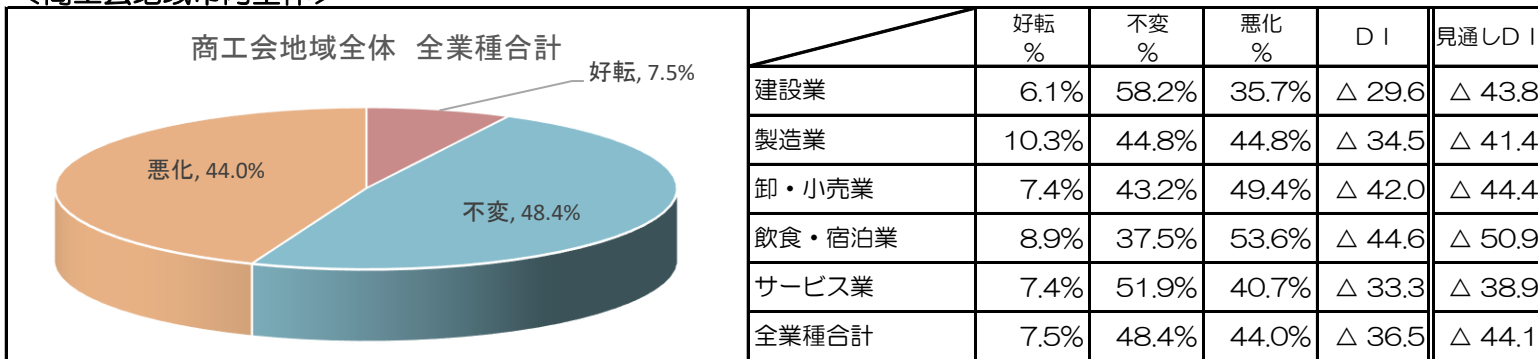


<コメント> 今期の松代地域において、地域全体の従業員数は、全ての業種で横映え傾向となっており、DI値で前回調査比3.1ポイントの改善であった。全業種でも動きがない傾向で、従業員数もほとんど変化がないと推測される。来期見通しでも今期より5.1ポイント増加し、悪い中にも上向くと判断されていることがうかがえる。

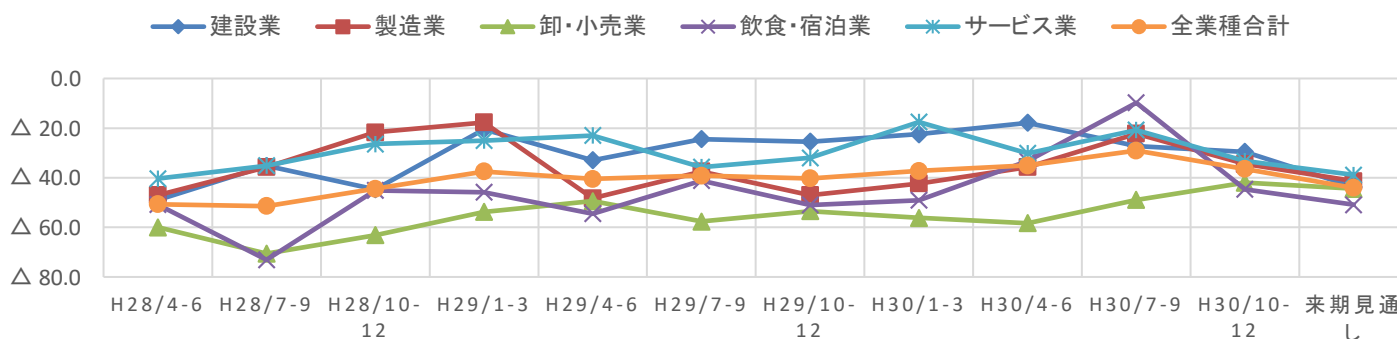
7. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

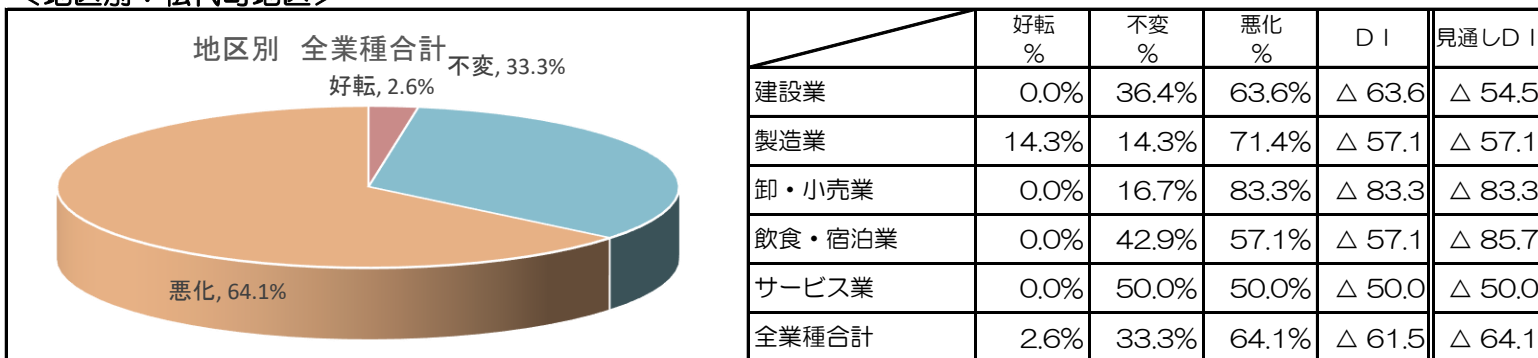


業種別景況判断の推移(市内全体)

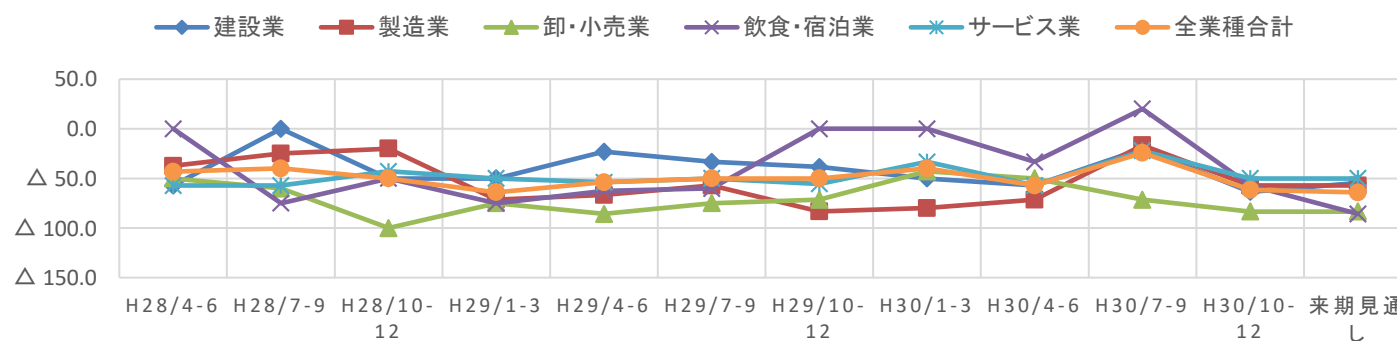


<コメント> 今期の市内全体の景況判断状況は、DI値△36.5ポイントであった。前年同期(△40.2)比で3.7ポイントの改善となっている。業種全体の推移グラフで景況判断も微増傾向にあったが、今期で下降し、来期見通しも悪化予測されている。

<地区別：松代町地区>

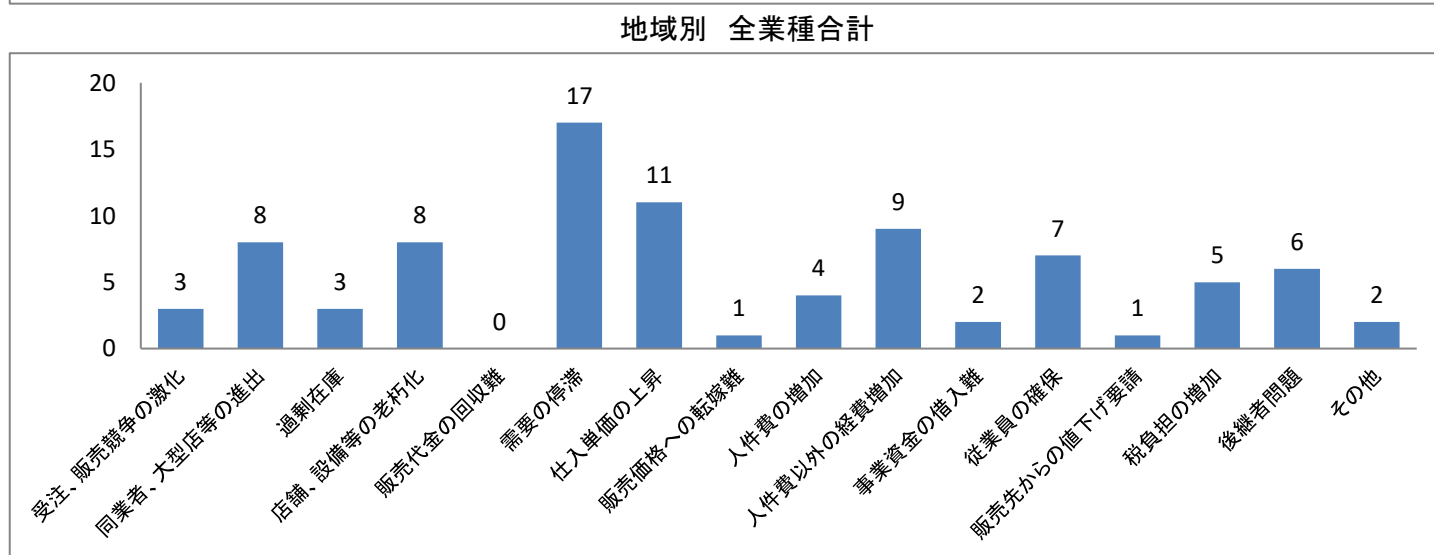
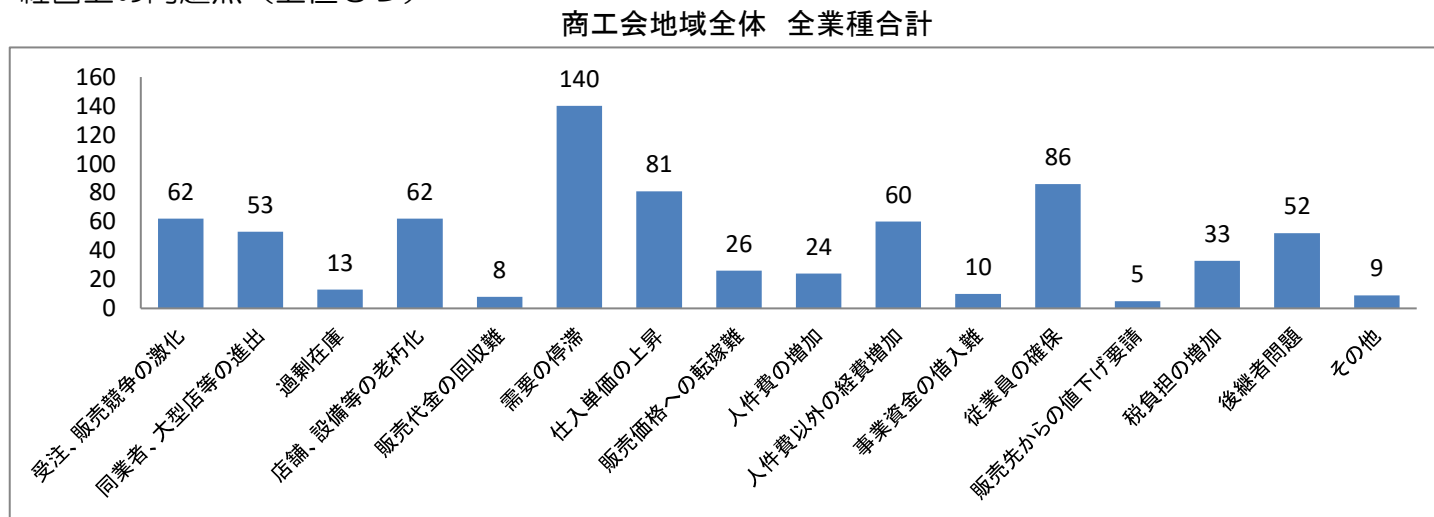


業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント> 今期の松代地域において、地域全体の景況判断は、64.1ポイントの悪化傾向を示し、全体として不況感である。来期の見通しとしては2.6ポイント悪化傾向と予測しており、次回調査にて実際の数値に注視したいところである。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



＜コメント＞ 今期調査での経営上の問題点は、1位が需要の停滞、2位に従業員の確保、3位が仕入単価の上昇となっており、従業員の確保難が全業種で問題となってきている。また、人件費以外の経費増加を回答している事業所も多くなってきている。

9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

【建設業】 今回調査での当松代地域の建設業において経営上の問題点は、前回調査時と上位3位までの内容は変わっていないが「需要の停滞」「従業員の確保」及び後継者問題で前期と同様であった。4位以下も前回同様の傾向であるが、人材不足の状況が進んでいるものと推測される。

【製造業】 今回の調査での当松代地域の製造業において経営上の問題点は、「人件費以外の経費増加」が圧倒的に多く、2位「仕入単価の上昇」3位「同業者、大型店等の進出」「店舗、設備等の老朽化」「需要の停滞」と同数であり、問題が多岐にわたっている。

【卸・小売業】 今回調査での当松代地域の卸・小売業において経営上の問題点は、前回調査時と同様「需要の停滞」がダントツで市場の縮小の状況が進んでいるものと推測される。

【飲食・宿泊業】 今回調査での当松代地域の飲食・宿泊業において経営上の問題点は、前回調査時と同様「店舗、設備等の老朽化」「需要の停滞」及び「仕入単価の上昇」が同列してきており、問題が広がってきている状況が進んでいるものと危惧される。

【サービス業】 今回調査での当松代地域のサービス業において経営上の問題点は、前回調査時と同様「需要の停滞」と「店舗、設備等の老朽化」及び「仕入単価の上昇」が同率1位に並び、次いで「税負担の増加」になり、この業種でも問題が広がってきている状況が進んでいると思われる。